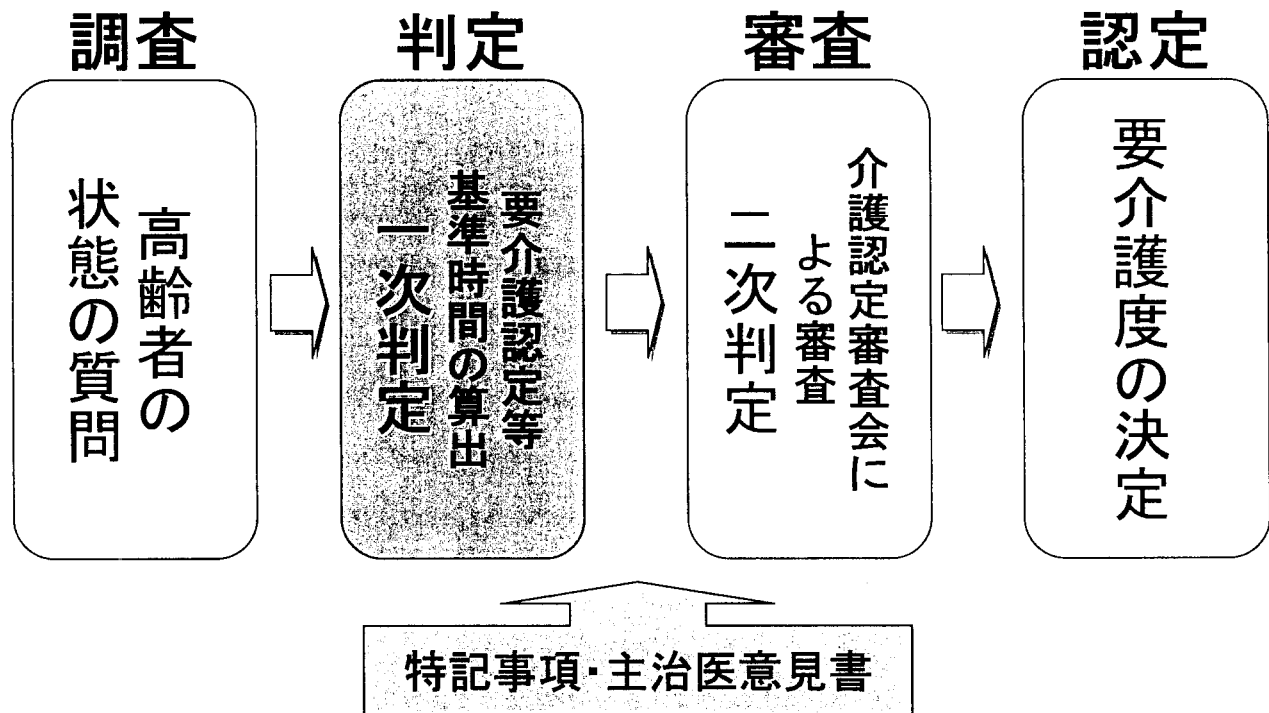


高齢者介護実態調査

介護風景ビデオ1

平成6年度に実施された1分間タイムスタ
ディの調査結果から、要介護認定の1次判
定ソフトが作られています。

介護認定までの流れ



今回の調査は、ケアを必要とする高齢者約5,000人について、どれくらいのケアが提供されているかを“1分間タイムスタディー”という方法で調査します。

1. 1分間タイムスタディーの 調査方法

1分間タイムスタディー調査は、調査の対象となる職員1人に対し、調査者1人が常にはりつきます。

調査者は、1分ごとに、職員の方が何を（ケア内容）、誰に（高齢者）行ったかを記録します。



毎分00秒の瞬間に、何を、誰に行っているかを記録します

調査票への記録

ここは事前に記入します

施設ID	棟	職員ID	月	日	時
101	1	005	2	20	09

調査者
氏名

山田 太郎

001: 複数高齢者へのケア提供開始の場合
 009: 複数高齢者へのケア提供終了の場合
 888: 予定されているケアを複数高齢者に提供する場合
 999: 高齢者が調査対象外の場合
 000: ケア対象高齢者がいない場合

24時まで記入
例) 09、18

分	ケア内容	ケアコード	高齢者氏名	高齢者ID	ケアを複数の高齢者に提供する場合の高齢者ID					
					1	2	3	4	5	6
00	何を(ケア内容)	ケアコード	誰に	高齢者ID						
01										
02										
03										
04										
05										
06										
07										
08										
09										
10										

毎分00秒の瞬間の
ケア内容と高齢者の
名前を記述します

ケアコード表と高齢者名簿
を参照し記入します
(分からない場合は、休憩時間
または調査終了時に記入)

介護風景ビデオ2

調査者の作業風景

調査者は、常に自分の担当する職員の方の後について、毎分00秒の瞬間におけるケア内容と高齢者の方を観察し、調査票に記録して行きます。

たとえば、

職員の方が排泄ケアを行う場合は...



排泄への声かけ

車椅子への移乗介助

トイレへの移動介助

便器への移乗介助

排泄時の見守り

排泄の清拭介助

車椅子への移乗介助

病室へ移動介助

ベッドへの移乗介助

介護風景ビデオ3

排泄一連

ケアコード表

3桁	大分類	2桁	中分類	1桁	小分類	コード
3	排泄	1	排泄	1	準備	311
				2	誘いかけ・拒否時の説明(移乗・体位変換を除く)	312
				3	介助(移乗・体位変換を除く)	313
				4	見守り(移乗・体位変換を除く)	314
				5	後始末	315
		2	排泄時の移乗・体位変換	2	誘いかけ・拒否時の説明	322
				3	介助	323
				4	見守り	324
		9	その他	9	その他	399
5	移動・ 移乗・ 体位変換	1	移動 (浴室内の移動時は除く)	1	準備	511
				2	誘いかけ・拒否時の説明	512
				3	介助	513
				4	見守り	514
				5	後始末	515
		2	移乗 (浴室内の移乗・ 排泄の移乗時は除く)	1	準備	521
				2	誘いかけ・拒否時の説明	522
				3	介助	523
				4	見守り	524
				5	後始末	525
		3	体位変換 (浴室内の体位変換・ 排泄の体位変換時は除く)	1	準備	531
				2	誘いかけ・拒否時の説明	532
				3	介助	533
				4	見守り	534
				5	後始末	535
9	その他	9	その他	599		

ケア内容からケアコードを検索し記入します。

ケアコードの記入

分	ケア内容	ケアコード	高齢者氏名	高齢者ID	複数の場合の高齢者ID					
					1	2	3	4	5	6
:00	排泄への声かけ	312	平田	101						
:01	車椅子への移乗	523	↓	101						
:02	↓	523	↓	101						
:03	トイレへの移動	312	↓	101						
:04	↓	312	↓	101						
:05	↓	312	↓	101						
:06	便器への移乗	323	↓	101						
:07	↓	323	↓	101						
:08	排泄時の見守り	314	↓	101						
:09	↓	314	↓	101						
:10	↓	314	↓	101						
:11	排泄の清拭介助	313	↓	101						
:12	↓	313	↓	101						
:13	車椅子へ移乗	323	↓	101						
:14	病室へ移動	513	↓	101						
:15	↓	513	↓	101						
:16	ベッドへ移乗	523	↓	101						
:17										
:18										
:19										
:20										

2. ケアコード表の見方

ケアコードの分類

ケアコードは、大きく目的別に9種類に分類してあります。

9種類をさらに区分けした中分類と、各行為の流れを示した小分類に分かれています。

ケアコードの基本的な構造

大分類 (100の位)	中分類 (10の位)	小分類 (1の位)
<ul style="list-style-type: none">1 清潔・整容・更衣2 入浴3 排泄4 食事5 移動・移乗・体位変換6 機能訓練7 問題行動※8 医療・看護※9 その他の業務※	<p>主に ケアの 目的</p>	<ul style="list-style-type: none">1 準備2 誘いかけ・拒否時の説得3 介助4 見守り5 後始末 <p>※医療・看護などの場合は上記1～5と異なりますので注意してください</p> <ul style="list-style-type: none">9 その他

9種類のケアコードとは

1. 清潔・整容・更衣
2. 入浴
3. 排泄
4. 食事
5. 移動・移乗・体位変換
6. 機能訓練
7. 問題行動
8. 医療・看護
9. その他の業務



1. 清潔・整容・更衣

手洗いや清拭、洗髪、洗面・手洗い、口腔のケアなどがあります。

また整容や衣服の更衣もこちらになります。



1. 清潔・整容・更衣

さらに6種類に分かれます

- 1)清拭：お湯、タオル、ムースなどでの部分・全身清拭など
- 2)洗髪：シャンプー、ドライシャンプーを用いての洗髪など
- 3)洗面・手洗い：洗面や高齢者自身の手洗いなど
- 4)口腔ケア： 歯磨きの他に義歯着脱や洗浄、うがい、
唾・痰の介助など
- 5)整容： 整髪や爪きり、耳掃除、髭剃り、おしゃれなど
- 6)更衣： 衣服のほかに靴下、靴の着脱など

1. 清潔・整容・更衣



よくある間違い！！

- ・「洗髪」(12X)と「洗面」(13X)の混同に注意
- ・入浴時における洗面と洗髪は「入浴」(21X)に分類します

2. 入浴

浴室での洗身・洗髪・洗面、浴槽内での移動、浴槽への出入りなどがあります。

2. 入浴

さらに2種類にわかれます

- 1)入浴：入浴のほかに、浴室内での洗身・洗面・洗髪、入浴後のタオル拭きなど
- 2)浴室内の移動・移乗・体位変換：
スリッパ・車椅子と浴槽間の移動、浴槽への出入りなど

3. 排泄

おむつ交換、排泄時の移乗などがあります。



3. 排泄

さらに2種類にわかれます

- 1)排泄：排尿・排便動作や、排泄時の陰部清拭・洗浄、坐浴介助、失禁時の介助、おむつ・おむつカバー装着・除去など
- 2)排泄時の移乗・体位変換：
トイレ・ポータブルトイレの便座への移乗や、排泄時に身体をささえるなど



3. 排泄

よくある間違い！！

・トイレに行くためのベッドから車椅子、またはトイレまでの移乗や移動は「排泄での移乗」ではなく、移動・移乗(5XX)でとります

4. 食事

“食事”は通常、病室から食堂に移動してから行われることが多く、食事介助をはじめ水分摂取の介助などがあります。

4. 食事

- 1) 食事：エプロン装着、スプーンで食べさせる、おやつ、水分摂取介助など

4. 食事



よくある間違い！！

- ・ラップをとる、魚の骨をとるやバナナの皮をむくなどは“食事”の「介助」になります
- ・食事時の口の周りを拭く動作は“食事”の「介助」になります

5. 移動・移乗・体位変換

移動や移乗、体位変換があります。



5. 移動・移乗・体位変換

さらに3種類にわかれます

- 1) 移動：歩行器・リハビリカー・つえ・ストレッチャー・車椅子を使用しての移動や、抱えたり抱き上げる移動など
- 2) 移乗：車椅子から床やベッド、ベッドなどから車椅子の介助など
- 3) 体位変換：体を起こす、支える、寝かせる、キャッジベッドの操作など

5. 移動・移乗・体位変換



よくある間違い！！

- ・「移動」と「移乗」の混同に注意
- ・「移乗」と「体位変換」の混同に注意
- ・「高齢者の移動」と「職員自身の移動」の混同に注意
- ・便座の「移乗」やおむつ着脱の「体位変換」は排泄(3XX)になります

6. 機能訓練

理学療法や作業療法、言語療法などの訓練があります。また体操やマッサージ、その他、日常生活での動作訓練も含まれます。

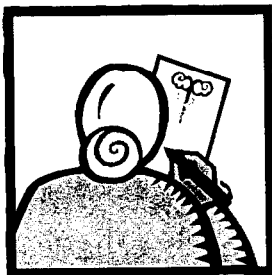


6. 機能訓練

さらに6種類に分かれます

- 1)理学療法的訓練： 基本的動作訓練、筋力増強など
- 2)作業療法的訓練： 運動遊び、手芸、パソコンなど
- 3)言語療法的訓練： 発声練習・コミュニケーション能力評価など
- 4)体 操： 個人・集団に対する体操
- 5)物理療法： 牽引・温熱・電気療法、マッサージ など
- 6)その他の機能訓練： 日常生活動作（家事など）の訓練

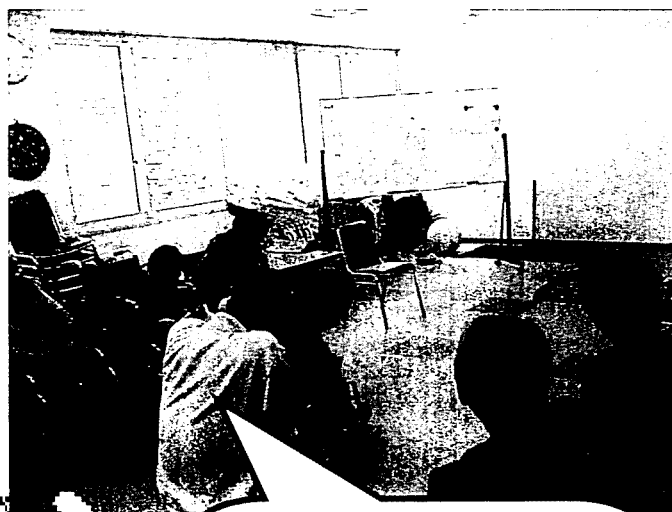
6. 機能訓練



では写真を見て
コード表で確認して
みましょう

6. 機能訓練

高齢者の方にマッ
サージをしている
→ケアコード653



高齢者の方と運動遊
びをしている
→ケアコード623

6. 機能訓練



よくある間違い！！

- ・機能訓練室だけでなく、居室での機能訓練も含まれます

7. 問題行動

問題行動に対して、発生時の対応やそれに対しての予防的対応、そして予防的訓練があります。

7. 問題行動

さらに3種類にわかれます

1)問題行動発生時の対応：

徘徊・不潔行為・暴力行為・破壊行為・感情不安定
(不安や怒りや抑うつなど) などの対応

2)問題行動の予防的対応：

転倒防止のための危険物の除去や空間の確保など

3)問題行動の予防的訓練：

五感の刺激、写真を見せて思い出させるなど



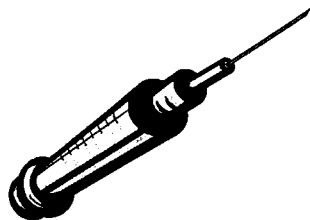
7. 問題行動

よくある間違い！！

- ・一般のケアと区別できない場合がありますので、職員の方に確認して下さい

8. 医療・看護

注射や輸血などの薬物療法や、吸引や牽引など呼吸器や運動器にかかる処置、また感染予防などにかかる処置などがあります。



8. 医療・看護

さらに8種類にわかれます

- 1)薬物療法：経口薬・坐薬、注射、輸血など
- 2)呼吸・循環・消化・泌尿器にかかる処置：
吸入療法、浣腸、摘便、嘔吐に対するケアなど
- 3)運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置：
温冷湿布、軟膏塗布、鼻出血の処置など
- 4)観察・測定・検査：体温・脈拍・体重測定、検体の採取など
- 5)指導・助言：栄養・服薬・睡眠などに関する指導など
- 6)診察介助：診察の準備・誘いかけから介助、後始末
- 7)感染予防：消毒液を用いての手洗いなど
- 8)巡視：夜間を含む巡視、容態の観察など

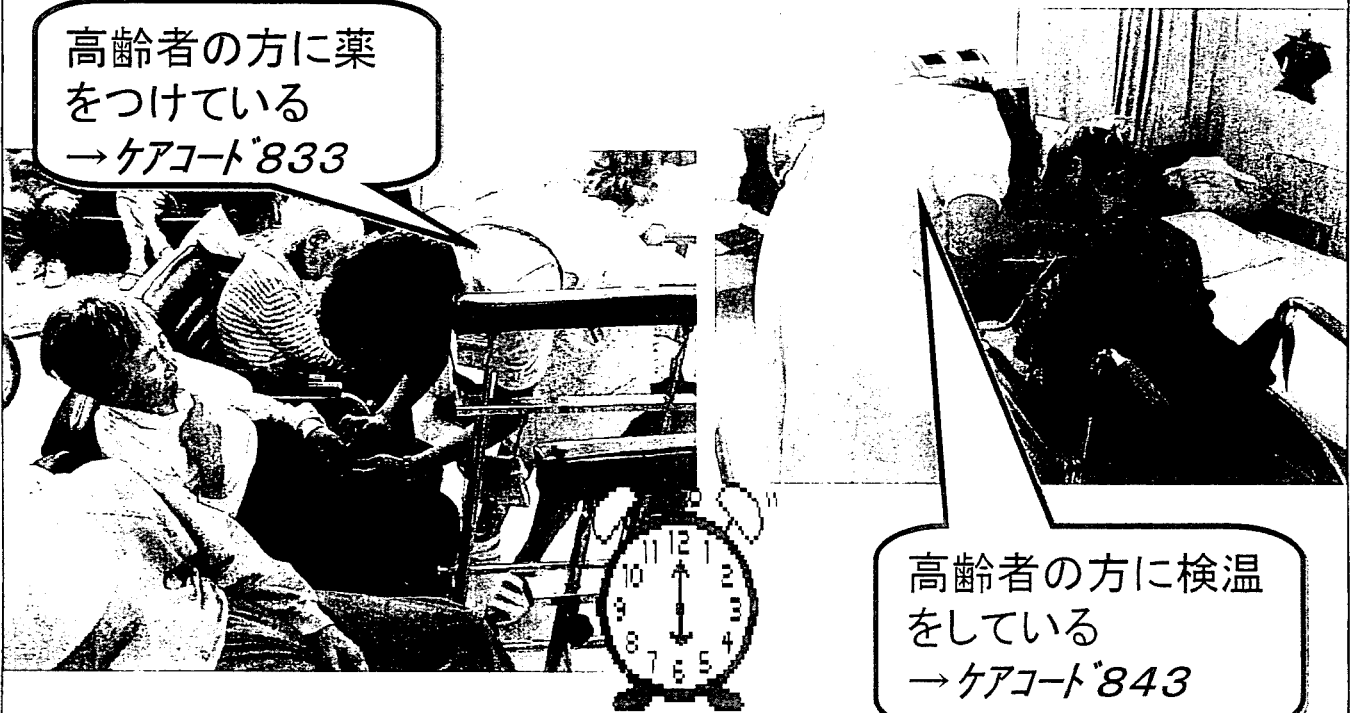
8. 医療・看護



では写真を見て
コード表で確認して
みましょう

8. 医療・看護

高齢者の方に薬
をつけている
→ケアコード833



高齢者の方に検温
をしている
→ケアコード843

8. 医療・看護



よくある間違い!!

- ・消毒液を使用した手洗いは「感染予防」になります

9. その他の業務

その他の業務は、日常生活やレクリエーション、また病室掃除や洗濯、記録調整などがあります。



9. その他の業務

さらに8種類にわかれます

- 1)その他の日常生活：起床・就寝、集う、テレビを見るなど
- 2)行事・クラブ活動：行事・クラブ活動、レクリエーション活動など
- 3)コミュニケーション：挨拶・日常会話や心理的な支援など
- 4)入所(院)者物品管理：物品購入を含む全般管理など
- 5)情報収集・生活指導：家族との連絡・応対、オリエンテーションなど
- 6)環境整備：寝具や褥し整備、ベッド周囲の掃除、洗濯など
- 7)記録・調整：看護・介護記録記入、申し送りなど
- 8)職員に関すること：日誌の作成、休憩、職員の移動など

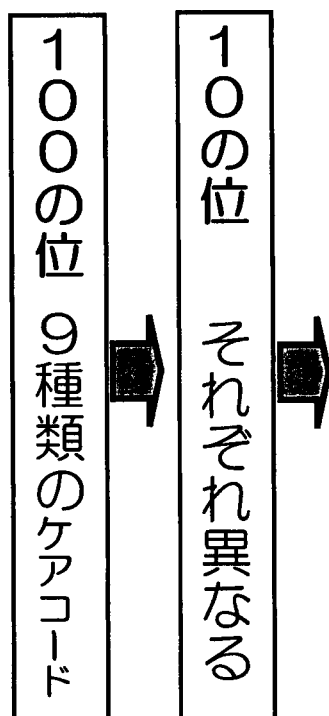


9. その他の業務

よくある間違い！！

・ケアを目的としない移動は、職員自身の移動(981)になります

ケアコードの1の位について



1の位の基本は“1～5”

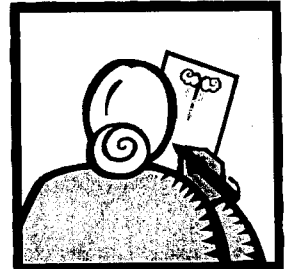
1. 準備
2. 誘いかけ・拒否時の説得
3. 介助
4. 見守り
5. 後始末

医療・看護、その他の業務は一部異なりますので注意して下さい

最後に. . .



コードの判断が解りかねるところは、調査連絡係に確認して未記入がないようにしましょう！！



3. 調査票の記入方法

調査票の記入方法は、ケア提供する高齢者の対象によっていくつかあります。

- A. 対象高齢者が1人の場合
- B. 対象高齢者がいない場合
- C. 対象高齢者が調査対象外の場合
- D. 対象高齢者が複数の場合

A. 対象高齢者が1名の場合

対象高齢者が1名の場合は、特定の個人に対しケアを行っている場合をいいます。

排泄、食事など1人の高齢者の方に対し、移乗、移動、介助、見守りなどを行っている状態を記録します。